

小・中連携を超えて

校長 三浦 一富

平成28年度の教育活動がスタートしました。4月6日(水)の入学式には、13名の1年生を迎え、心のこもった入学式を行うことができました。保護者、地域の皆様のご理解とご支援をいただき、いよいよ桜ヶ丘校舎の2年目を迎えます。



さて、15日(金)に「南佐渡中学校区連携推進会議」を当校を会場にして行いました。小木小学校の校長、教頭を含めて、お集まりいただいたメンバーは、佐渡市教育委員会南教育事務所の事務局長、羽茂小学校の校長、教頭、南佐渡中学校の校長、教頭、そして小木保育園・幼稚園長、羽茂保育園長、羽茂高等学校長の10名です。

中学校区の小・中連携活動は、佐渡市内どこの中学校区でも行われています。また、幼・保との連携も、多くの中学校区で取組がなされていると思います。南佐渡中学校区では、これに加えて、羽茂高等学校との連携にも努めてきました。子どもたちの進路選択の上でも重要な高校とのつながりが、中学校区の中でもたれていることは、他地区ではあまり見られないことです。



児童朝会(4/15)で、委員会の活動内容を「原稿なし」で堂々と発表する各委員長

この日は、各園、各小・中学校、高等学校の今年度の学校運営の方向性について、互いの計画を紹介し合ったり、子どもたちの現状について、率直に情報交換をしたりすることができました。幼少期における「外遊び」の減少傾向、あいさつ運動への保育園からの参加提案、原稿なしで発表する力が付いてきた小・中学生、体力面で共通するのが「握力」の弱さなどなど・・・。

このような幼・保・小・中・高の連携体制は、義務教育9年間の枠を超えて子どもたちの成長を見守り続ける意味でも、大切なことと感じています。これからも引き続き、幼保・小・中・高の連携活動を推進して参ります。